

本会議・予算常任委員会 8月定例会で審議された補正予算

■一般会計補正予算 主な内容

秋田内陸線イベント列車整備事業費補助金	500万円	県、北秋田市と共にお座敷列車の改造費用を支援
低コスト技術等導入支援事業費補助金	5,325万円	省人化・低コスト化に必要な機械・設備の導入等を支援
農地集積加速化基盤整備事業費	1億1,166万円	生保内南地区中心経営体集積促進に対する交付金
観光トイレのコロナ安全対策事業費	△330万円	3月補正予算での観光トイレ自動水栓化事業の残金
2021 仙北市プレミアム宿泊支援事業費	1,076万円	秋田県民が仙北市内の宿泊施設で使える割引券の発行
冬期交通対策費	4億3,178万円	冬期間の除排雪費用
小学校保健特別対策事業費	520万円	コロナ対策の消毒液、マスク、パルスオキシメーター、サーマルカメラ等の購入費
中学校保健特別対策事業費	400万円	コロナ対策の消毒液、マスク、パルスオキシメーター、サーマルカメラ等の購入費
火除け地復元調査事業費	292万円	防壁の役目をした土塁の痕跡確認や石積み状況などの確認調査費

本会議・予算委員会での質疑

秋田内陸線の経営状況と今後の見込みは？

質問 イベント列車整備事業の内容を伺う。また、経営状況と今後の見込みについても伺う。

答弁 お座敷列車「マタギ号」の車体塗装、座椅子・テーブルの改修、音響設備の更新である。総額5千万円で国、県北秋田市と支援する。令和2年度の決算は、コロナ禍による観光利用の落ち込みを仙北市などからの経営維持補助金や国のコロナ関連交付金で補填し経常収支損失額が例年並みの1億4千万円となった。

今後は、伊勢堂岱遺跡の世界文化遺産登録を追い風に、イベント列車活用による観光利用や教育旅行の誘客等に努めるとしている。

火除け地復元調査の内容と今後のスケジュールは？

質問 具体的な調査内容と旧角館庁舎解体後のスケジュールを伺う。

答弁 防壁の役目をした高さ約3mの土塁の痕跡確認及び、火除け周りの水路の石積み状況の確認調査を行う。また、火除け地全体を俯瞰的に把握するため、平面測量と発掘調査の地層断面を図面化する現地測量を実施する。

調査解体後の令和4年度には、調査結果を報告書としてまとめ、「火除け復元検討委員会（仮称）」にて、復元の在り方について提言をいただく予定である。

3月の補正予算で480万円の事業が8月で330万円の減額補正とはどうしたことか？

質問 3月補正予算で新型コロナウイルス感染症予防対策として、観光トイレの水栓自動化することだったのが、330万円の減額補正の理由について伺う。

答弁 市が所有管理する公衆トイレの水栓自動化工事であるが、当初は配管工事と電気配線工事を見込んでいたが、電気配線工事が不要な乾電池式や既存のコンセントを利用した充電式の自動水栓に変更したため減額することになった。短期間での変更で申し訳なく思っている。

議決結果/議員賛否 令和3年 第4回 仙北市議会定例会(招集日:8/11 最終日:9/6)

凡例：賛→賛成、反→反対 退→退席 欠→欠席（議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています）

議案番号	件名	議決月日	議決結果	議員															
				高生会					クラブ民					公明党	共産党	無党派			
				小林幸悦	高橋豪	田口寿宜	八柳良太郎	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	稲田修	伊藤邦彦	阿部則比古	荒木田俊一	小木田隆	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二
議案第68号	令和2年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について	9/6	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	欠	賛	反	反
議案第70号	令和2年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/6	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	反

*全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

本会議・予算常任委員会 令和2年度決算が審査される

令和2年度 一般会計決算額

①歳入総額 264 億 4,975 万円 ②歳出総額 260 億 1,776 万円 ①－② 収支 4 億 3,199 万円

8月定例会では令和2年度の決算についても審査されました。各常任委員会での分科会審査を経て、予算常任委員会と本会議において各決算が賛成多数で認定されました。

令和2年度一般会計・特別会計決算収支状況

(単位：円)

区分	歳入①	歳出②	形式収支③ (①－②)	翌年度に繰り越すべき財源④	実質収支⑤ (③－④) 下段前年度	単年度収支	
一般会計	26,449,750,487	26,017,763,727	431,986,760	23,125,000	408,861,760 453,714,558	-44,852,798	
特別会計	8,199,214,332	7,782,628,704	416,585,628	0	416,585,628 422,949,567	-6,363,939	
内 訳	集中管理	3,900,055,093	3,900,055,093	0	0 0	0	
	国民健康保険 事業勘定	3,238,419,127	2,868,402,407	370,016,720	0	370,016,720 369,275,270	741,450
	国民健康保険 神代診療施設	82,334,101	82,276,116	57,985	0	57,985 23,608	34,377
	後期高齢者医療	341,156,889	339,936,283	1,220,606	0	1,220,606 1,018,963	201,643
	介護保険	438,245,032	438,207,007	38,025	0	38,025 374,980	-336,955
	生保内財産区	123,306,781	96,956,824	26,349,957	0	26,349,957 32,180,121	-5,830,164
	田沢財産区	63,409,854	45,273,014	18,136,840	0	18,136,840 18,169,127	-32,287
	雲沢財産区	12,287,455	11,521,960	765,495	0	765,495 1,907,498	-1,142,003
総計	34,648,964,819	33,800,392,431	848,572,388	23,125,000	825,447,388 876,664,125	-51,216,737	

単年度収支とは…前年度の繰越金も今年度の歳入額に含まれているため、今年度の収支から前年度繰越金を差し引いた純粋な収支。単年度収支が黒字の場合は、新たな余剰金が生じたことを意味し、逆に赤字の場合は、過去の余剰金を使い果たしたことを意味します。

地域運営体活動推進交付金の不用額が多いのは何故か？
質問 令和2年度の地域運営体活動推進交付金の当初予算額3,600万円のうち、不用額が1,393万円あるが、新型コロナウイルス感染症の影響なのか伺う。また、各運営体の事業内容が市の事業内容と重複する部分が多いように感じられるが見解を伺う。
答弁 不用額が多いことについては、地域の行事等や高齢者のふれあい事業が、コロナ禍により密を避けての中止が多かったことが主な原因である。市の事業との重複については、地域運営体交付金交付規則において、当該事業が他の市補助金と重複する場合は、地域運営体交付金の対象としないと明確に区分している。

田沢湖黒沢工業団地は今後どうなる？
質問 令和2年度の企業誘致対策事業費における企業誘致活動の内容と黒沢工業団地の今後の見通しを伺う。
答弁 令和2年度は、コロナ禍により首都圏等への企業訪問はできなかったが、東京にある県企業立地事務所へ派遣の市職員が都内の企業を19社訪問している。黒沢工業団地については、現在中断のハレタス田沢湖の植物工場事業の実現を第一に考え、フランチャイズ親企業と事業見直しに向けた協議を進めている。

令和2年度
一般会計決算 予算委員会の質疑から